

第1回APWS市民別説明会（東京会場）議事内容・要旨

期 日：平成19年7月9日（月）18：30～19：30

場 所：日本水フォーラム6階会議室

出席者：（APWS事務局）竹村、横田、河村、竹中、安倍

JWF 評議員 神田

その他参加申込者

基調講演、サミット内容説明の後、意見交換、質疑に移った。

Q 首相級会合の傍聴は認められるか？

A 基本的には招待者のみ。

Q オープンイベント申し込み40団体は会場斡旋を含めてか？九州の団体が主か？

A 市民団体は九州が多い。省庁を含めさまざまな団体の応募がある。

Q 招待者が決定しているのか？招待者決定プロセスは？

A 基本的に運営委員が決定する。まだ招待者は確定していない。全部で300～400人か？

オープンイベントを3日までに開催すれば、サミット参加者にイベントの成果をまとめたものを配布する。

Q なぜサミットか？フォーラムではないのか？市民参加の回路を明確化にする必要がある。

NGOの代表的団体を選ぶのは非常に難しいのでは？運営委員がどのような人を推薦するのか？

オープンイベントは九州でなくてもいいのではないかと思う。

A どの国もそうだが、途上国の水行政は縦割りになりがちである。特に、途上国の問題を解決するにはトップしかいない。だからサミットが必要。

NGOは水問題で熱心に活動している組織、各テーマで、ウェブログの議論に熱心に参加してくれた人、外国人も対象にする。

オープンイベントは九州以外の全国も対象にしている。

以上